

① 番線作成マクロ

図面の部品に番線(LWH/XYZ)を作成します。

①番線作成範囲が自動で認識される

②範囲を手動で変更する

③番線が作成される

断面図への番線作成も可能!

フォーム上で
・番線番号文字サイズ
・番線文字位置・方向
等の調整が可能

[A-A断面]

面倒な番線作成作業を自動化!

② 図面リンク修正マクロ

CATIA図面の各ビュー(投影図、断面図...)と3Dデータのリンク情報を修正します。

①リンクを削除

②リンクを追加

リンク付け替え

分解されたビューでも、再度3Dとリンクを持たせることが可能!

図面データの流用促進、図面修正作業を効率化!

④ 穴中心線自動作成マクロ

サーフェス上の穴を自動認識して、穴中心軸(3軸)を作成します。

穴中心線作成

サーフェスを選択して実行

サーフェスを選択するだけで全ての穴を認識し3軸を作成!

⑤ プロダクト自動断面作成マクロ

プロダクトにて、指定した平面と製品との断面形状を自動作成します。

断面を作成する平面を選択して実行

ソリッドの場合は、結果を曲線、サーフェスどちらで出力するか選択可能

サーフェス 曲線

プロダクト構造でも複数の断面を一括作成!

⑥ アセンブリ構造復元マクロ

プロダクトから1パート化されたデータを、プロダクト構造に戻します。

マクロ実行前

マクロ実行後

1パート時の名称から“*”区切りで階層を構築

アセンブリ構造に戻して作業効率化!(配置/干渉チェック等)

⑦ 一括Tiff / PDF変換マクロ

任意のフォルダ内の図面データを一括でTiff/PDFに変換します。

一括Tiff / PDF変換マクロ

図面データが入っているフォルダを選択して実行する

手動でCATIAデータを開くことなくデータ変換が可能!

手動でCATIAデータを開くことなくデータ変換が可能!

⑧ フィーチャー名整理マクロ

フィーチャー名に付けられた不要な文字を削除します。(「〇〇の結果」「〇〇の北-」等)

マクロ実行前

マクロ実行後

ツリーを見やすく整理することが可能!

ツリーを見やすく整理することが可能!

⑨ 要素一括表示切替マクロ

プロダクト上で要素(点・ワイヤ・サーフェス)タイプごとに表示/非表示を切り替えます。

一括で選択し要素の属性を変更するといった使い方も可能!

任意の要素タイプの「表示」/「非表示」/「選択」を選択

プロダクト構造における面倒な作業を効率化!

プロダクト構造における面倒な作業を効率化!